

高橋（たかばし）から、しばらく、列車が下を通るのを眺めた。昔は、よく、おばあちゃんに連れられ、京太と一緒に、そこから、蒸気機関車をよく見た。

京都駅の南側には、蒸気機関車をしまふ建物や、方向を変える回線路の円があった。今は、まったく、様子がちがうが、僕の頭には、昔の光景がそのまま像を結んでいた。

京都駅に着いたのは、もう二時三十分だった。しかし、まだ、だれも来ていないようだ。

東口の団体待合所には、他の学校の生徒がたくさんいた。

京都へ修学旅行に来ていて、

これから帰るところの様だ。

東口の改札口にも

別の団体の生徒がいっぱいだ。

汗が良くでる、西瓜のせいか。

また、ミルクコーヒー買って飲んだ。

三十円！

普通なら、二十円なのに！

「これから買う時は、損な買い方しないように」と思った。

母が扇子を入れてくれていて助かった。